

埼玉県学力・学習状況調査に係る効果的な取組事例（中学校・数学）

越谷市立光陽中学校

1 本校の概要

(1) 埼玉県学力・学習状況調査の結果等

学年	伸びた層			本事例で取り上げた領域				左記以外に取り上げた主な取組
	上位層	中位層	下位層	数と式	図形	関数	資料の活用	定期テスト後の解き直しレポート作成
3	○	○		○				

※ 「伸びた層」は、一番伸びた層に『○』。各層において同じ伸びの場合は、複数の層に『○』。

・伸びた結果の要因、背景

本学年の生徒は全体的に真面目で、学習に限らず一つ一つの活動を丁寧に最後までやり遂げることができる。また、チャイム前着席や授業準備、授業開始・終了時の挨拶等、授業規律についても良い習慣がついており、落ち着いて学習に取り組むことができるため集中力も高い。また、安心して学校生活を送ることができる人間関係が構築されているため、分からないことを気兼ねなく友人に聞くこともでき、理解を深めることに役立っていると思われる。

2 具体的な取組

(1) 教育委員会との連携による取組

越谷市「算数・数学科教育に係る効果の検証」に向けて、事前に既習事項の復習に取り組んだり、調査終了後に正答率が低かった問題について類題を用いて定着するまで繰り返し解き直しをさせたりした。

(2) 本校独自の取組

- ・習熟度別少人数指導（本人の希望によるコース選択）を実施した。
- ・授業開始時の数分間を使って、基本的な内容の計算問題に継続的に取り組んだ。
- ・各単元で数回、少人数グループ（3～4人）を用いた学習を取り入れた。
- ・定期テスト終了後に、解き直しレポートを作成させ、正答にいたるまでの思考の過程をまとめさせた。
- ・長期休業を活用して、教科書の既習部分の「たしかめ」と「問」を全て複数回解き直すことを課題として提示し、既習事項の定着を図った。

3 成果と課題

(1) 生徒の変容した（伸びた）姿について

・教員の見取りから

学習を苦手としている生徒は多いが、嫌なことでも辛抱強く取り組むことができる生徒が徐々に力をつけて結果に結びつけている。また、学習に対する必要性を感じている生徒が大半を占めるため、授業に真剣に取り組む、提出物の期限を守って出すことをあたり前のように行えることも学力の伸びに繋がっているようである。

・アンケート結果から

質問紙の結果からも、学習の必要性を半数以上の生徒が感じており、学習方法を工夫したり、学力の高い友人の取組を参考にしたりするなど、自ら進んで努力を重ねることができている。

(2) 分析結果を受け、これからの実践に向けての課題

全体的に学習に対して真剣に取り組む習慣がついている生徒が多いが、学習の楽しさを感じている生徒はまだ少ないため、学ぶことの楽しさを感じることができるような授業を展開し、更に力を付けていきたい。